



北海道大学

コロナ禍における障害学生支援

2022年3月4日

北海道大学

学生相談総合センター

アクセシビリティ支援室

榊原佐和子

学生相談と障害学生支援の相談の重なり

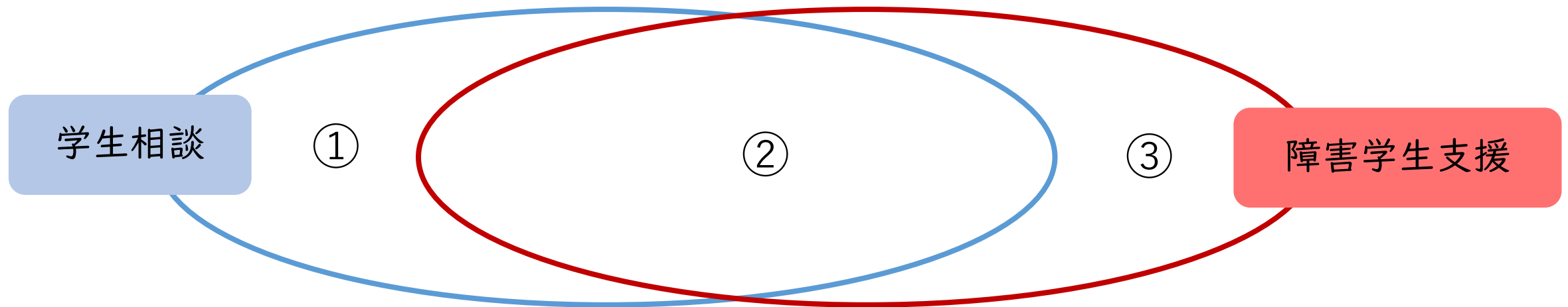
心理療法寄り
個人の精神病理へのアプローチ中心



ソーシャルワーク寄り
環境調整中心

専門性は心理

専門性はいろいろ

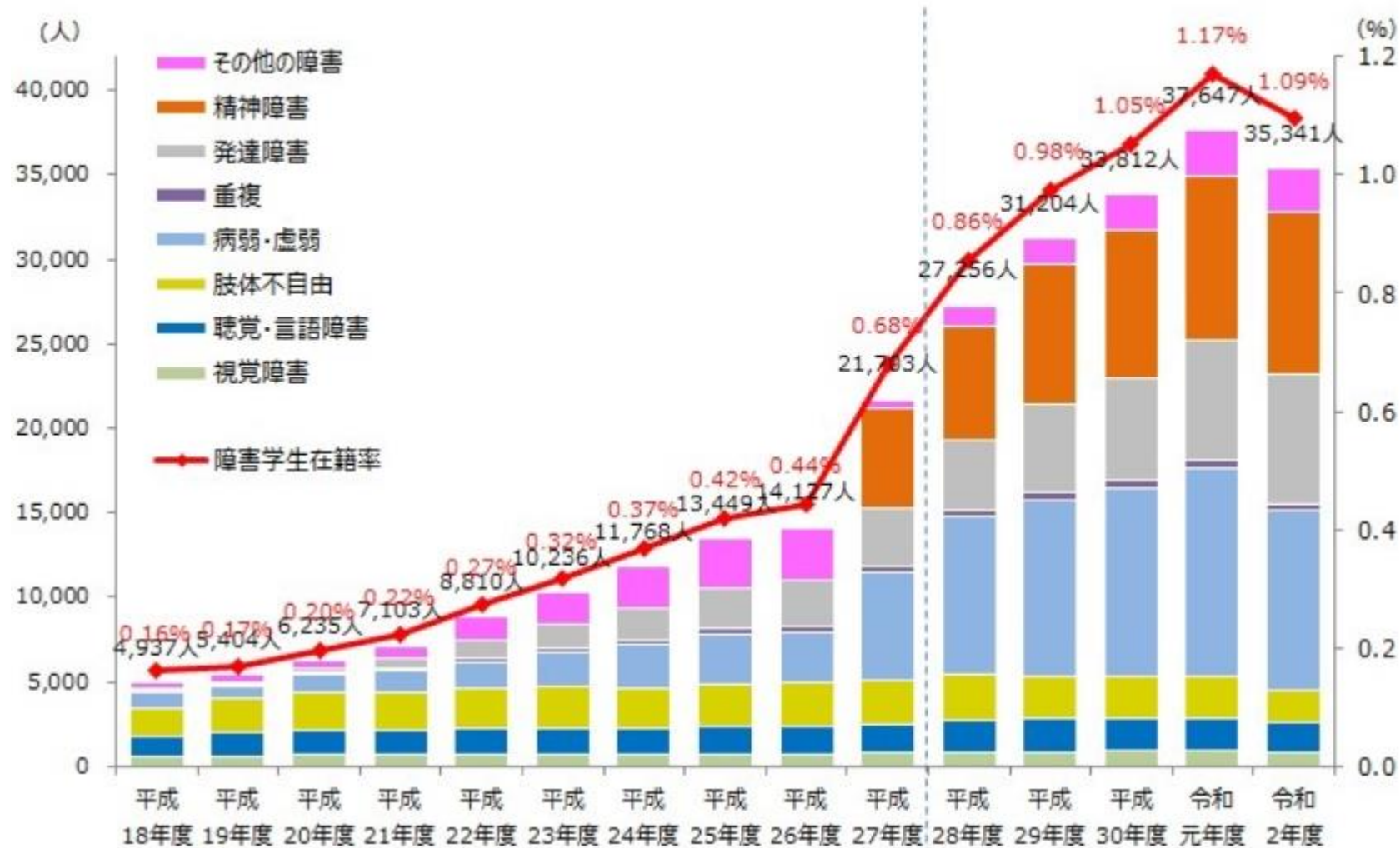


①個人的悩みに関する相談（例：性格、家族関係、恋愛関係、友人関係、バイト関係の悩み）、精神症状軽減、障害はないが一時的に不調に陥っている学生への支援、自殺対応

②（障害がある、障害があると思われる）学生への修学支援や大学生活への適応、障害受容、就活

③合理的配慮に関する相談（例：身体障害のある学生が授業で教員の声が聞こえず困る）

大学等における障害学生数



障害学生支援は、戦後いろいろな大学で行われていたが、現在の状況になった大きなきっかけは、

2016年4月に施行された「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（略称：障害者差別解消法）」



- ・ 障害を理由とする不当な差別的取り扱いの禁止
- ・ 合理的配慮の不提供の禁止

コロナ禍となり、障害学生支援にどのような変化があったか

- 対面面談 → 遠隔面談（ZOOM等の利用による面談）
- 支援方法の変化 例：ノートテイク

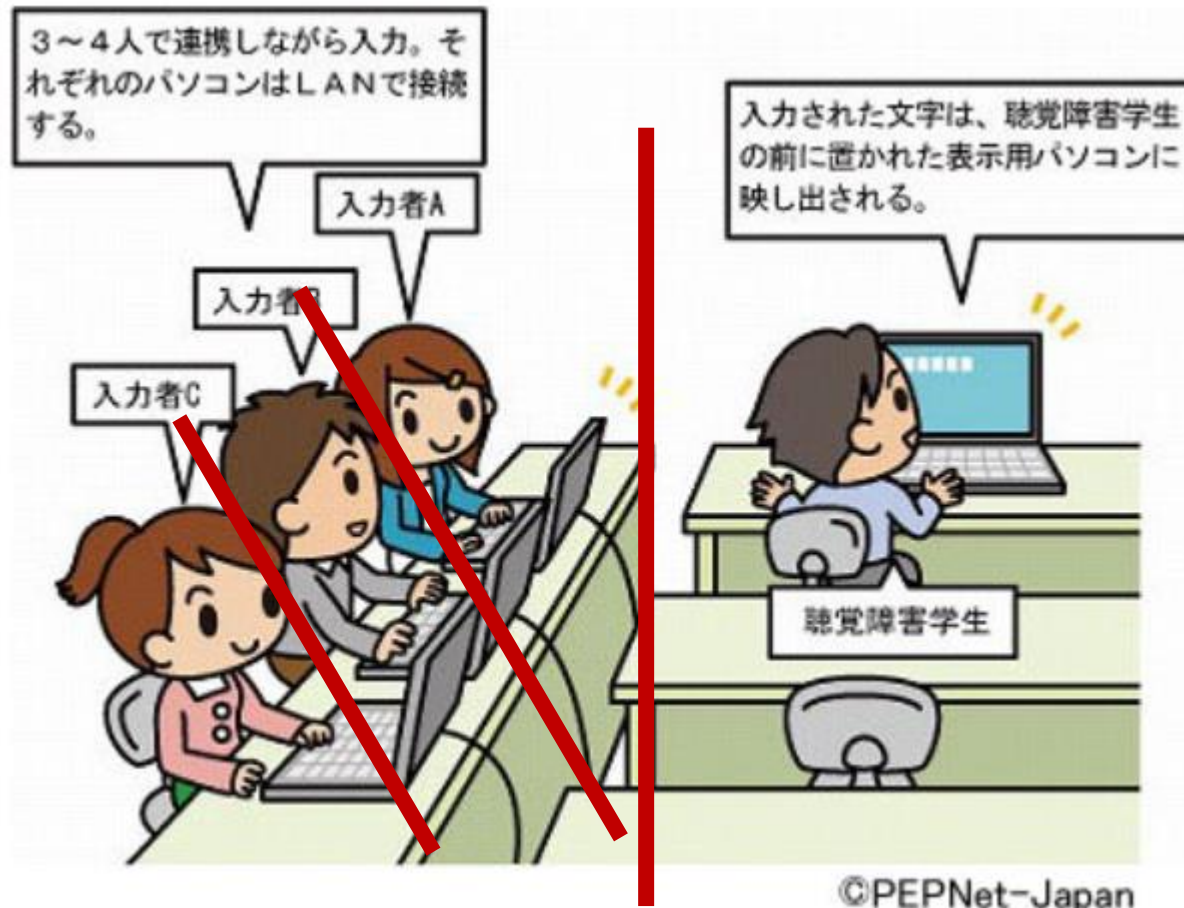
パソコンノートテイク イメージ



教員の声 = 音声データ
↓
文字情報 = 視覚データ へ変換

©PEPNet-Japan

パソコンノートテイク イメージ



教員の声 = 音声データ
↓
文字情報 = 視覚データ へ変換

遠隔でパソコンノートテイク実施

- T-TAC Caption <https://www.tsukuba-tech.ac.jp/ce/t-tac2/development.html>
- Iptalk <http://www.s-kurita.net/>
- UDトーク <https://udtalk.jp/>

コロナ禍となり、障害学生支援にどのような変化があったか

- 対面面談 → 遠隔面談（ZOOM等の利用による面談）
- 支援方法の変化 例：ノートテイク
- 資料等のデジタルデータ配布



コロナ禍となり、障害学生支援にどのような変化があったか

- 対面面談 → 遠隔面談（ZOOM等の利用による面談）
- 支援方法の変化 例：ノートテイク
- 資料等のデジタルデータ配布
- 学校までの移動がない



コロナ禍となり、障害学生支援にどのような変化があったか

- 対面面談 → 遠隔面談（ZOOM等の利用による面談）
- 支援方法の変化 例：ノートテイク
- 資料等のデジタルデータ配布
- 学校までの移動がない
- 自宅での授業受講



多くの障害のある学生にとって、授業のオンライン化によって、他の学生と同じ修学の機会が得られている。

今後、コロナ禍が終わったのち

- 対面授業になったとしても、オンラインでの授業受講を合理的配慮として希望する学生は出てくると考えられる。
= 授業のハイフレックス化により、選択肢を増やすことが望まれる。

